

● **人権小国ニッポン — 拘禁施設における拷問**

制作委員会・1995年・55分・6000円 (団体 18000円)

日本の拘禁施設では「拷問」がいまだ行われていた。革手錠の体験者の赤裸々に証言をはじめ、警察・入管・刑務所での衝撃的な事実を明らかにする。マスコミが伝えなかったタブーを映像化。

● **横浜事件を生きて**

オススメ

ビデオプレス・1990年・58分・5000円 (団体 15000円)

戦時下の最大の言論弾圧事件と言われる「横浜事件」。事件は1942年から45年にかけて多数のジャーナリスト・知識人が検挙され、事実無根の共産党再建をでっちあげられ特高から激しい拷問を受けたもの。被害者の木村亨さんの再審請求のたたかいを中心に描く。



● **完結**

争議団連絡会議反弾圧部 (復刊ビデオプレス)・1984年・60分・3000円 (団体 9000円)

あなたは警察に捕まらない、という自信がありますか？ 冤罪で、あるいは労働運動や市民運動の現場で、警察から狙われていないという保障は誰にもありません。万一逮捕された、そんな時にどうすればいいのか、その対処法を教えます。

~~~~~  
**<環境・原発・医療>**  
 ~~~~~

● **いのちを楽しむ—容子とがんの2年間**

ビデオプレス・2013年・102分・5000円 (団体 20000円)

がんになっても自然に自由に！ 40歳で乳がんを発症した渡辺容子さんは、『患者よ、がんと闘うな』の著者・近藤誠医師を主治医に、自然に自由に、仲間とともに生きてゆく。彼女の「最期の2年間」に寄り添ったくいの



ち見つめる>ドキュメンタリー。医療の発展が私たちにもたらすものとは、そして「自分らしく生きる」とは？ 2013年劇場公開され感動を呼び起こした。

● **「原発はいらない」 広瀬隆講演シリーズ**

ビデオプレス・各1000円 (団体 3000円)

- ・「広瀬隆講演録・電力自由化で原発と電力会社を葬る！」 (2015年11月28日の講演・90分)
- ・「子どもたちを救え～福島原発事故と放射能汚染」 (2011年4月30日の講演・108分)
- ・「福島原発事故と放射能汚染～怒りの緊急講演会」 (2011年3月26日の講演・140分)

● **64歳のデモデビュー～3.11が私を変えた**

ビデオプレス・2012年・30分 (上映会のみ・相談)

運動嫌いのノンポリだったノンフィクション作家・松原惇子は3.11を体験してどう変わっていったのか。64歳で初めて参加した脱原発デモ。多くの日本人が体験した3.11以降の現実を当時のハイライト映像を交えて描いた。松原惇子が見たものは…。

● **わたしの葬送日記**

ビデオプレス・2005年・77分 (上映会のみ・相談)

この映画は、父の葬儀をだすことになったノンフィクション作家・松原惇子のお葬式奮闘記です。「えっ？ 戒名代 300万円？」だったら戒名なしでお願いしましょう。それを聞いた住職は通夜の席で「勝手にしろ、帰る」と言いだしました。納得できずにつめよる惇子。オロオロする母。お墓って、葬儀って、いったい何なのでしょう。カナダ国際ドキュメンタリー映画祭招待作品。

● **ジャビルカ**

— ウラン鉱山とたたかうミラルの人々

オーストラリア作品 (日本語版制作ビデオプレス)・1998年・53分・4000円 (団体 12000円)

世界遺産でもあるカカドゥ国立公園にはアボリジニー (ミラル氏族) が暮らしていたが、ここにウラン鉱脈が発見され、鉱山会社と政府による開発が始まった。アボリジニーたちは騙されるように土地を奪われ、自然環境は汚染の脅威にさらされた。

● **恐るべき電磁波汚染**

ビデオプレス (企画=日本消費者連盟)・1997年制作・35分・5000円 (団体 15000円)